

朝日新聞旗争奪野球大会

ヤンチャーズが優勝

10月2日、3日、第32回朝日新聞旗争奪少年野球大会が江差町うみ街信金ボールパークで開催され、上ノ国石崎ヤンチャーズを含む13チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

ヤンチャーズは一回戦を5-3で勝利すると、2回戦、準決勝と順調に勝ち上がり、決勝戦は9-2のスコアで優勝を決めました。小田監督代行にお話を伺ったところ「選手一人一人の努力の結果。6年生は最後の大会を有終の美で飾ることができた」とのことです。選手、応援していた保護者ともに最高の大会となったようです。



現地視察ツアーで

外国人観光客が来町

10月5日から7日の間、外国人旅行者を対象とした渡島・檜山地域の旅行商品の開発を目的とした現地視察ツアーが実施され、日本在住の外国人15名が道南地域の文化を体験しました。

このツアーは、(公財)北海道観光振興機構が実施したもので、本町では夷王山や神の道からの景色を楽しんだあと、かたこもち作りを体験していました。

参加者は「かたこもちは美味しかったし、講師の方もいい人たちだった。機会があればまた訪れたい」と笑顔で話していました。



湯ノ岱地区

ワイナリー始動

10月6日、旧湯ノ岱小学校を再利用したワイナリー施設では、ワイン用ブドウの搬入作業が行われていました。

今年は町外から赤ワイン用と白ワイン用のブドウを購入し、搾汁などの製造工程を経て、750ml瓶で約1万8千本分の製造を見込んでいるとのこと。

ワイナリー事業は町の重点施策として町と上ノ国開発(株)(字大留)との連携協定に基づき実施しており、今後の雇用創出や地域価値の向上、地域産業の活性化などが期待されています。



町を深く知る事が出来た

上ノ国高校生の職場体験

10月7日から8日の2日間、上ノ国高校の2年生が町内外の事業所で職場体験を行いました。これは、正しい職業観・勤労観の育成に努めることなどを目的に毎年行われているものです。

今回は観光協会で体験を行って2名に取材しました。取材時は、旧笹浪家住宅などの観光地を訪れ、説明を受けていました。

2人は「今回の体験を通して、上ノ国町の観光地や、歴史などを詳しく知る事が出来てよかった」と話していました。

※この記事は職場体験に来た上高生が作成しました。

